

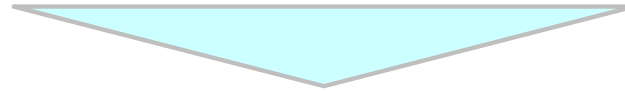
高梁川の取組方針(案)

- 1.はじめに
- 2.本協議会の構成員
- 3.高梁川の概要と主な課題
- 4.現在の取組状況
- 5.減災のための目標
- 6.概ね5年で実施する取組
- 7.フォローアップ

取り組み方針案の構成について

1.はじめに

協議会設立の背景等を記載



2.本協議会の構成員

高梁川に係る倉敷市、総社市、早島町、岡山県、岡山地方気象台、中国地方整備局の構成員を記載



3.高梁川の概要と主な課題

河川の特徴、代表的な水害の概要および主な課題を記載

4.現在の取組状況

①河川特性に関する事項

項目	現状	課題
河川特性について	<ul style="list-style-type: none">・氾濫域に干潟の干拓や埋め立てによって形成されたゼロメートル地帯を含み、多くの人口・資産、行政・医療機関、駅といった重要な公共施設が集中している。・上流部では山に挟まれた狭窄部が存在する。・洪水時に高梁川への合流点水位が高いことから、小田川の水位が高くなる特性(背水影響)を持っている。また、小田川の河床勾配は、高梁川に比べても緩く、水位が高くなる影響が広範囲に及ぶ。	<ul style="list-style-type: none">A.長期間かつ広範囲で浸水被害が発生し、経済、社会に与える影響が甚大である。B.上流では、急激に浸水深が大きくなり、被害が深刻になる恐れがある。C.小田川合流点の水位上昇により、緩勾配の小田川は背水影響を強く受け、破堤リスクの増大・内水の助長といった危険な状態となる。

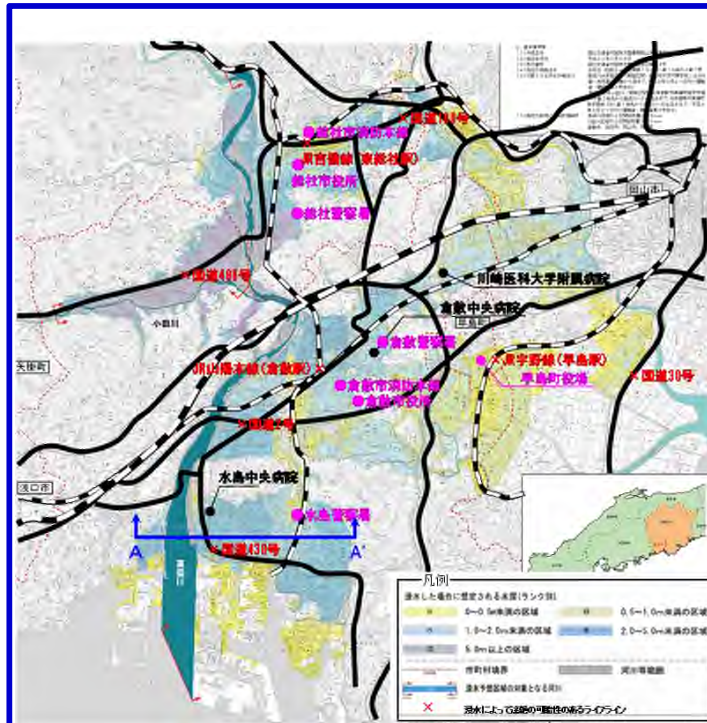
4.現在の取組状況

①河川特性に関する事項

「河川特性について」

現状

- ・氾濫域に干潟の干拓や埋め立てによって形成されたゼロメートル地帯を含み、多くの人口・資産、行政・医療機関、駅といった重要な公共施設が集中している。
- ・上流部では山に挟まれた狭窄部が存在する。



①主なライフライン

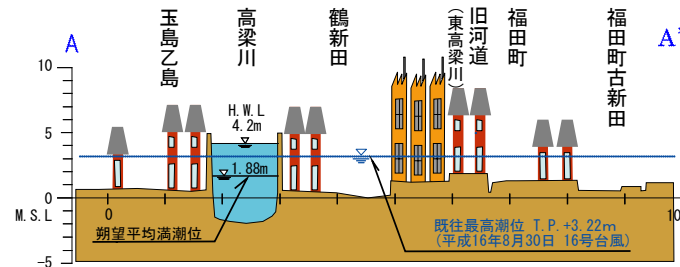
- ・ JR山陽本線、JR吉備線、JR宇野線等
- ・ 国道2号、国道180号等
- ※ JR山陽新幹線、JR伯備線、水島臨海鉄道、井原鉄道、山陽自動車道の大半は高架橋である。

②主要な公共施設

- ・ 役場：倉敷市役所、総社市役所、早島町役場
- ・ 警察署：水島警察署、倉敷警察署、総社警察署
- ・ 消防本部：倉敷市消防本部、総社市消防本部

③その他、災害時要援護者関連施設

- ・ 倉敷中央病院、水島中央病院、川崎医科大学付属病院、老人ホーム等



氾濫原の状況

沿川のゼロメートル地帯



課題

- A ・長期間かつ広範囲で浸水被害が発生し、経済、社会に与える影響が甚大である。
- B ・上流では急激に浸水深が大きくなり、被害が深刻になる恐れがある。

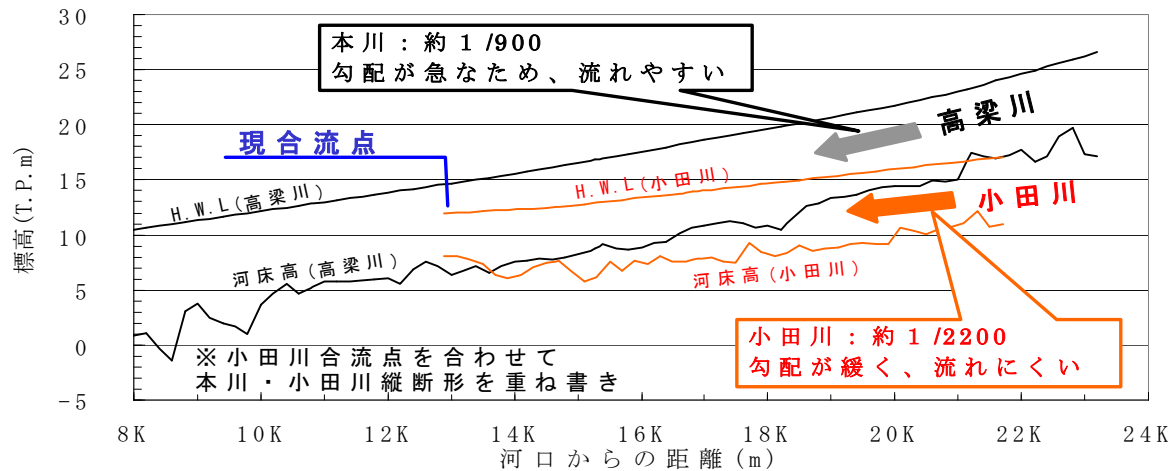
4.現在の取組状況

①河川特性に関する事項

「河川特性について」

現状

- ・洪水時に高梁川への合流点水位が高いことから、小田川の水位が高くなる特性(背水影響)を持っている。また、小田川の河床勾配は、高梁川に比べても緩く、水位が高くなる影響が広範囲に及ぶ。



内水氾濫を生じやすい小田川の河道



出典：平成22年高梁川水系河川整備計画

課題

C

- ・小田川合流点の水位上昇により、緩勾配の小田川は背水影響を強く受け、破堤リスクの増大・内水の助長といった危険な状態となる。

4.現在の取組状況

②情報伝達、避難計画等に関する事項

項目	現状	課題
避難勧告等の発令基準等について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画に避難勧告等の発令基準が記載されている。 	<p>D.地域防災計画に、より具体的に避難勧告の発令のタイミングや対象範囲の目安を記載したり、国(河川事務所、気象台)、県、市町と共同し、避難勧告等に着目したタイムラインを作成する必要がある。</p>
避難場所・避難経路について	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町・県の地域防災計画において避難場所を設定している。 ・洪水・土砂災害被害の可能性がある避難所を明らかにしている。 	<p>E.現状の避難場所、避難経路について大規模氾濫時の有効性を検証する必要がある。</p> <p>F.市町内の広範囲が浸水する場合等を想定し、市町内だけでなく隣接自治体の避難場所への広域避難や避難経路についても事前に検討・調整しておく必要がある。</p>
住民等への情報伝達の体制や方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・河川水位、洪水予報、CCTV映像の情報をウェブサイトやテレビ等を通じて伝達している。 	<p>G.情報の入手のしやすさや切迫感の伝わりやすさを向上させる必要がある。</p> <p>H.情報伝達手段が多様化し、情報伝達作業の煩雑化が懸念される。</p>

4.現在の取組状況

②情報伝達、避難計画等に関する事項

「避難勧告等の発令基準について」

「避難場所・避難経路について」

「住民等への情報伝達の体制や方法について」

現状

・地域防災計画に避難勧告等の発令基準が記載されている。

- ・平成27年度 倉敷市地域防災計画 倉敷市水防計画
- ・総社市地域防災計画(風水害等対策編) 平成27年5月
- ・早島町地域防災計画(風水害等対策編) 平成27年3月
- ・岡山県地域防災計画(風水害等対策編) 平成27年12月

課題

D

・地域防災計画に、より具体的に避難勧告の発令のタイミングや対象範囲の目安を記載したり、国(河川事務所、気象台)、県、市町と共同し、避難勧告等に着眼したタイムラインを作成する必要がある。

4.現在の取組状況

②情報伝達、避難計画等に関する事項

「避難勧告等の発令基準について」

「避難場所・避難経路について」

「住民等への情報伝達の体制や方法について」

現状

- ・各市町・県の地域防災計画において避難場所を設定している。
- ・洪水・土砂災害被害の可能性のある避難所を明らかにしている。



避難場所の位置図(出典: 倉敷市洪水・土砂災害ハザードマップ)

課題

・現状の避難場所、避難経路について大規模氾濫時の有効性を検証する必要がある。

・市町内の広範囲が浸水する場合等を想定し、市町内だけでなく隣接自治体の避難場所への広域避難や避難経路についても事前に検討・調整しておく必要がある。

4.現在の取組状況

②情報伝達、避難計画等に関する事項

「避難勧告等の発令基準について」

「避難場所・避難経路について」

「住民等への情報伝達の体制や方法について」

現状

・河川水位、洪水予報、CCTV映像の情報をウェブサイトやテレビ等を通じて伝達している。

NHKデータ放送の例

放送画面(NHK岡山放送局提供)



雨量観測所は、地図上の円で位置を表示。濃淡で雨の強さを表示。

水位観測所は、地図上の四角で位置を表示。選択した観測所は四角が点滅し、下部の詳細情報と現在の水位危険度レベルを表示。

ウェブサイトで見覧できる情報の例

岡山河川事務所ウェブサイト URL: <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>



課題

- G 情報の入手のしやすさや切迫感の伝わりやすさを向上させる必要がある。
- H 情報伝達手段が多様化し、情報伝達作業の煩雑化が懸念される。

4.現在の取組状況

③水防に関する活動

項目	現状	課題
河川水位等に係る情報提供について	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、高梁川では総社、酒津、船穂に設置しているカメラについて、CCTV映像(静止画・約3分更新)を水防警報発表状況と合わせてウェブサイトで公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> I.沿川住民に対し迫り来る危機を認識させるには、避難の目安となり得るカメラを選定し、リアルタイムでの画像配信を検討する必要がある。
河川の巡視区間について	<ul style="list-style-type: none"> ・出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> J.現状の巡視ルート・区間について、大規模氾濫時の有効性を検証する必要がある。 K.堤防決壊の恐れのある箇所での土のう積み等の水防活動が的確に行われるよう、河川巡視で得られた堤防や河川水位の情報を河川管理者と消防団員と兼任する水防団員で共有する必要がある。 L.水防団構成員の高齢化により、巡視が困難である。
水防資機材の整備状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・水防資機材については、河川管理者と水防管理団体が各々水防倉庫等に備蓄している。 	<ul style="list-style-type: none"> M.消防団員と兼任する水防団員と河川管理者が連携して的確な水防活動を推進するため、資機材にかかる情報を共有し、適切な配置について検討する必要がある。

4.現在の取組状況

③水防に関する活動

「河川水等に係る情報提供について」

「河川の巡視区間について」

「水防資機材の整備状況について」

現状

- ・現在、高梁川では総社、酒津、船穂に設置しているカメラについて、CCTV映像(静止画・約3分更新)を水防警報発表状況と合わせてウェブサイトで公開している。



出典: 岡山河川事務所 河川画像提供
<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/cctvpub/pc/php/main.php>



課題

- ・沿川住民に対し迫り来る危機を認識させるには、避難の目安となり得るカメラを選定し、リアルタイムでの画像配信を検討する必要がある。

4.現在の取組状況

③水防に関する活動

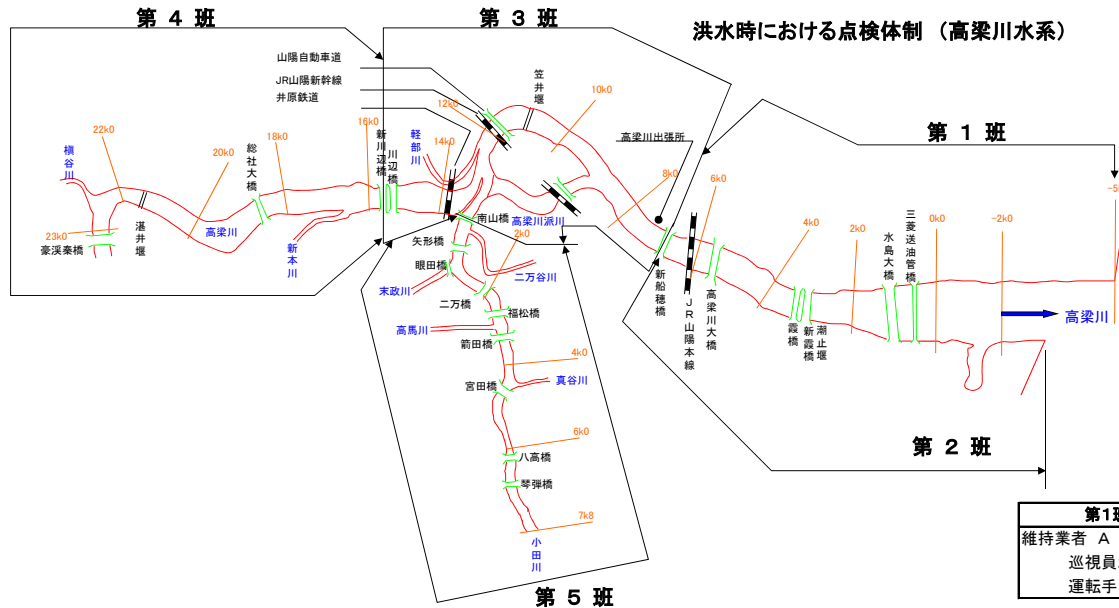
「河川水等に係る情報提供について」

「水防資機材の整備状況について」

「河川の巡視区間について」

現状

・出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。



河川の巡視ルート

出張所名	担当区間
高梁川出張所	高梁川 河口より直轄区間
	小田川 高梁川合流点より 直轄区間

第1班	第2班	第3班	第4班	第5班
維持業者 A	維持業者 A	維持業者 A	維持業者 B	維持業者 B
巡視員2名	巡視員2名	巡視員2名	巡視員2名	巡視員2名
運転手1名	運転手1名	運転手1名	運転手1名	運転手1名

課題

J ・現状の巡視ルート・区間について、大規模氾濫時の有効性を検証する必要がある。

K ・堤防決壊の恐れのある箇所ですのう積み等の水防活動が的確に行われるよう、河川巡視で得られた堤防や河川水位の情報を河川管理者と消防団員と兼任する水防団員で共有する必要がある。

L ・水防団構成員の高齢化により、巡視が困難である。

4.現在の取組状況

③水防に関する活動

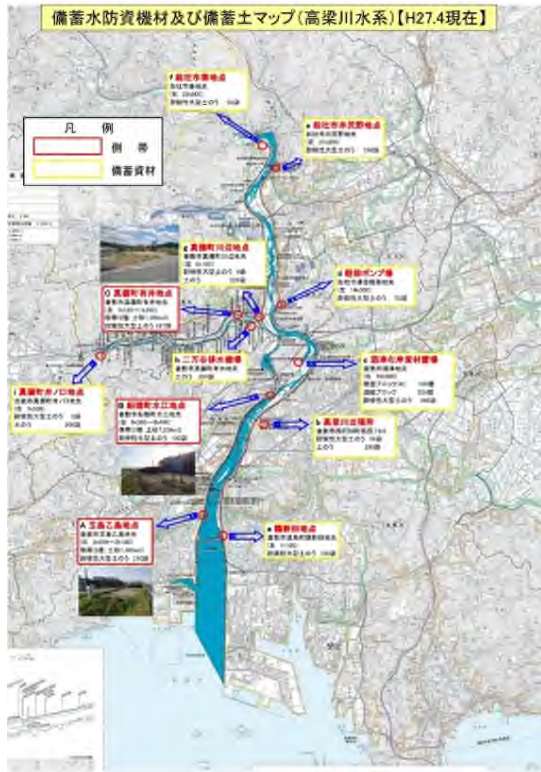
「河川水等に係る情報提供について」

「河川の巡視区間について」

「水防資機材の整備状況について」

現状

・水防資機材については、河川管理者と水防管理団体が各々水防倉庫等に備蓄している。



二種側帯		9,800
耐候性大型土のう		1,363
耐候性大型土のう袋	枚	230
大型土のう袋	枚	148
土のう		12,805
土のう袋	枚	286,300
むしろ	枚	1,020
縄		2,790
ビニールロープ		151
鉄線		713
丸太		10,560
鉄杭		881
スコップ		945
カケヤ		302
クリッパー		0
カマ		0
連結ブロック	m ²	550
根固ブロック4t	個	100

H27.4現在

土のう	袋	21,200
杭木	本	2,700
鉄杭	本	26
縄	巻	20
鉄線	kg	197
ポリダクト	m	100
ロープ	m	4,800
シート	枚	119
縄	本	4
スコップ	丁	156
ジョレン	丁	40
かけや	丁	43
たこ楯	丁	6
クリッパー	丁	6
シノ	本	16
一輪車	台	14
のこぎり	丁	8
手斧	丁	4
ナタ	丁	21
鎌	丁	17
ハンマー	丁	37
発電機		
バリケード	個	51
交通標識	枚	32
標識支柱	本	42
標識三脚	個	30

H27.5現在

土のう	袋	148,908
杭	本	1,502
かけや	本	211
たこ楯	本	34
スコップ	丁	742
ジョレン	丁	273
ツルハシ	丁	129
ナタ	丁	274
のこぎり	本	197
バール	丁	157
ハンマー	丁	84
クリッパー	本	22
一輪車	台	122
ポンプ	台	7
チェーンソー	台	15
ジャッキ	台	33
発電機	台	27
灯光機	台	12
バリケード	台	152
コーンセット	組	216
シグナル	個	114
油吸着マット	枚	18,580
ブルーシート	枚	4,728
トラロープ	巻	187
敷きマット	枚	7,063
毛布	枚	11,116
非常食	食	40,799
保存水	本	19,968
簡易トイレ	台	314
便袋	枚	26,000
トイレ用テント	台	50
小児用おむつ	枚	6,340
大人用おむつ	枚	3,418
哺乳瓶	本	450
生理用品	枚	760

H27.11現在

出典
 岡山河川事務所 : 平成27年災害対策計画(資料)
 倉敷市 : 平成27年倉敷市地域防災計画(資料編)
 総社市 : 平成27年総社市地域防災計画

課題

M

・消防団員と兼任する水防団員と河川管理者が連携して的確な水防活動を推進するため、資機材にかかる情報を共有し、適切な配置について検討する必要がある。

4.現在の取組状況

④河川管理施設の整備に関する事項

項目	現状	課題
堤防等河川管理施設の現状の整備状況	<ul style="list-style-type: none">・高梁川水系河川整備計画を平成22年10月に作成。・過去の被災状況、上下流の治水バランス、事業効果の早期発現等を踏まえた整備順序に従い事業を推進。・河川整備計画策定以降、高潮堤防の暫定整備と浸透対策を実施している。	<ul style="list-style-type: none">N.洪水氾濫を未然に防ぐ対策及び被害軽減を図るための堤防構造の工夫を行う必要がある。O.堤防の整備を推進する必要がある。

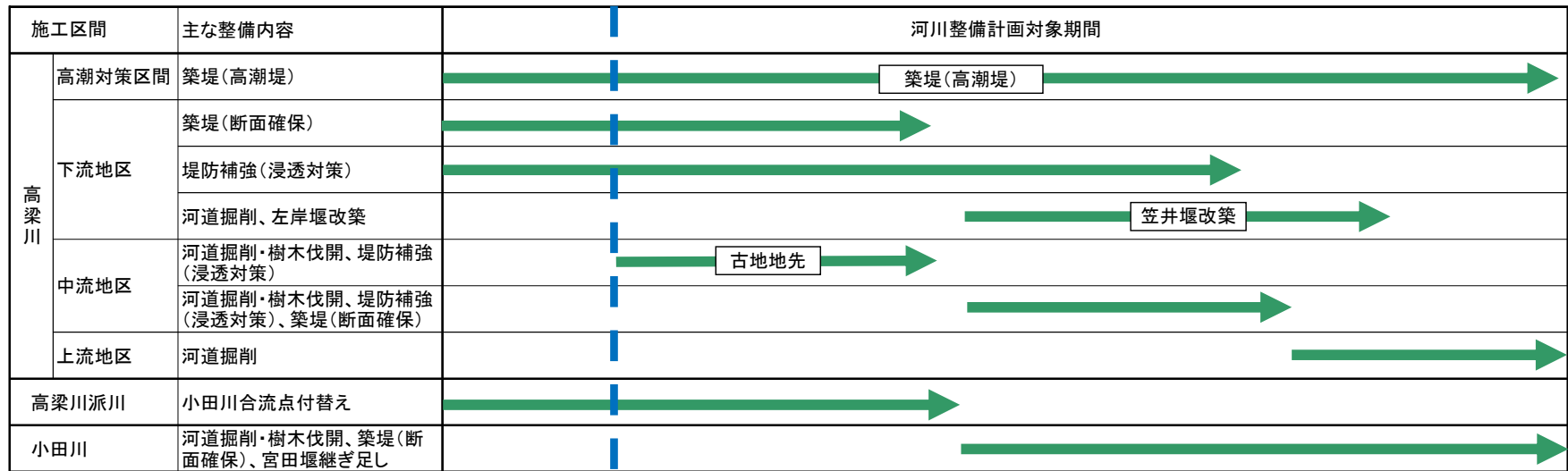
4.現在の取組状況

④河川管理施設の整備に関する事項

「堤防等河川管理施設の現状の整備状況」

現状

- ・高梁川水系河川整備計画を平成22年10月に作成。
- ・過去の被災状況、上下流の治水バランス、事業効果の早期発現等を踏まえた整備順序に従い事業を推進。
- ・河川整備計画策定以降、高潮堤防の暫定整備と浸透対策を実施している。



現時点

高梁川水系河川整備計画における整備順序の概略工程表

課題

N

・洪水氾濫を未然に防ぐ対策及び被害軽減を図るための堤防構造の工夫を行う必要がある。

O

・堤防の整備を推進する必要がある。

4.現在の取組状況

⑤氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

項目	現状	課題
排水施設、排水資機材の操作・運用について	・排水ポンプ車に関して事前に配備しており、実働実績がある。	P.大規模水害に適応するため、既存施設や排水資機材を活用した効果的な排水対策計画を検討する必要がある。

4.現在の取組状況

⑤ 氾濫水の排水、施設運用等に関する事項 「排水施設、排水資機材の操作・運用について」

現状

・排水ポンプ車に関して事前に配備しており、実働実績がある。

平成23年台風12号での出動状況

箇所名	事務所名	車名	容量	型式	排水活動時間				出動場所	水系、河川名	9月3日			9月4日		
					稼働開始	稼働終了	稼働終了時間	稼働終了時間			7-12	13-18	19-24	0-6	7-12	13-18
⑨作原	岡山河川事務所	排水ポンプ車 (10-4710)	80m ³ /min	水力タービン式	9月3日	11:18	9月3日	18:25	総社市日羽作原地先	高梁川水系高梁川						
⑩乙島	岡山河川事務所	排水ポンプ車 (10-4710)	80m ³ /min	水力タービン式	9月3日	18:00	9月3日	20:05	高梁川右岸-Ok400付近 (倉敷市玉島乙島地先)	高梁川水系高梁川						
⑪汐入川	岡山河川事務所	排水ポンプ車 (11-4707)	80m ³ /min	水力タービン式	9月3日	17:50	9月3日	21:30	高梁川左岸-Ok400付近 (倉敷市水島川崎通1丁目)	高梁川水系高梁川						
⑫川辺	岡山河川事務所	排水ポンプ車 (11-4707)	80m ³ /min	水力タービン式	9月4日	2:55	9月4日	9:30	小田川左岸Ok055付近 (川辺排水機場)	高梁川水系小田川						



さくばら
⑨作原



かわべ
⑫川辺

おとしま
⑩乙島



しおいりがわ
⑪汐入川

【排水ポンプ車出動台数（出動箇所）】

- 岡山河川事務所 : 4台(7箇所)
 - 中国技術事務所 : 2台(2箇所)
 - 三次河川国道事務所 : 2台(3箇所)
 - 福山河川国道事務所 : 1台(1箇所)
- 【延べ、14台(吉井川、旭川水系含む)】

課題

P

・大規模水害に適応するため、既存施設や排水資機材を活用した効果的な排水対策計画を検討する必要がある。

5.減災のための目標

■5年間で達成すべき「目標」

氾濫水が貯留する上流域や、ゼロメートル地帯を抱え、広範囲に広がる下流域の岡山平野における氾濫特性などをふまえた**実効性のある防災・減災対策を推進し、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」**を目指す。



■目標達成に向けた「3本柱の取組」

上記目標の達成に向け、洪水を河川内で安全に流すハード対策に加え、高梁川において以下の項目を3本柱とした取組を実施する。

- ① 迫り来る危機を認識した的確な**避難行動のための取組**
- ② 氾濫特性に応じた効果的な**水防活動**
- ③ 長期化する浸水を一日も早く解消するための**排水対策**

6.概ね5年で実施する取組

6.1.ハード対策の主な取組

■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- 浸透対策
- 流下能力対策

■ 危機管理型ハード対策

- 天端の保護
- 裏法尻の補強

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備
- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布
- 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備
- 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置

6.2.ソフト対策の主な取組

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション
- 広域避難計画の策定
- 避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備
- 要配慮者利用施設の避難計画の作成支援及び訓練の促進
- ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

■ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上
- タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
- 警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化

■ 防災教育や防災知識の普及

- 水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催
- 教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施
- スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信
- 水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供
- 効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成

② 氾濫特性に応じた効果的な水防活動

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- 水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進
- 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

③ 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策

■ 排水計画(案)の作成および排水訓練の実施

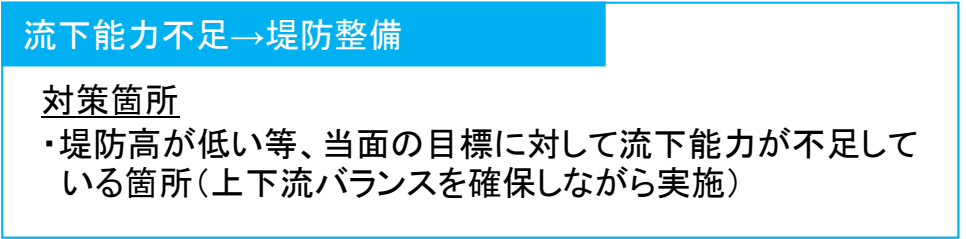
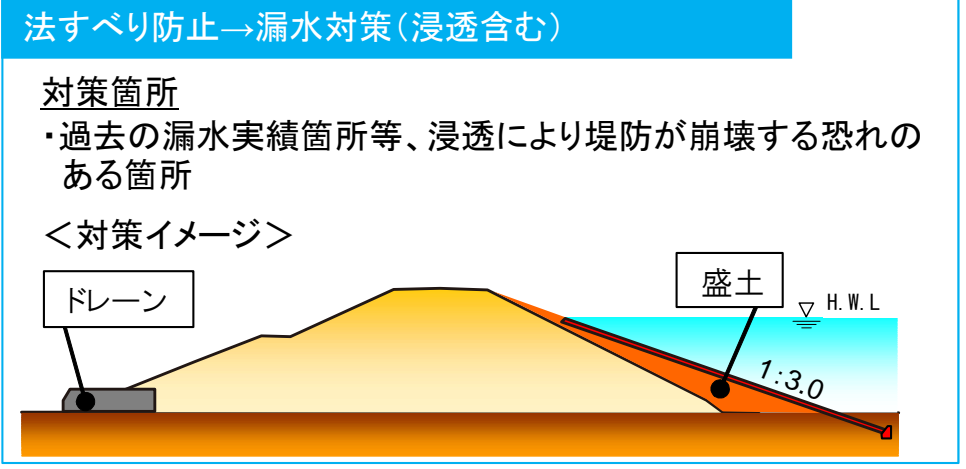
- 排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- 浸透対策
- 流下能力対策

【H32年度：中国地整】

【H32年度：中国地整】



※H33年度以降も整備計画に基づき該当する整備内容を継続して実施予定

危機管理型ハード対策

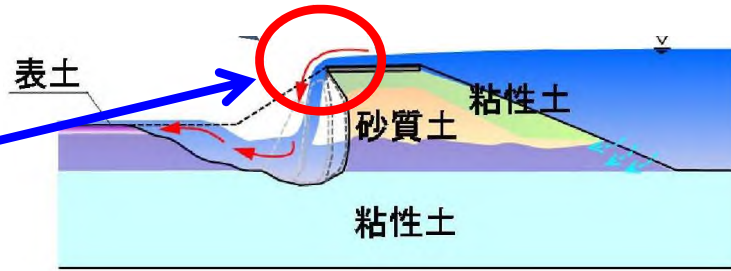
- 天端の保護
- 裏法尻の補強

【H29年度：中国地整】
【H29年度：中国地整】

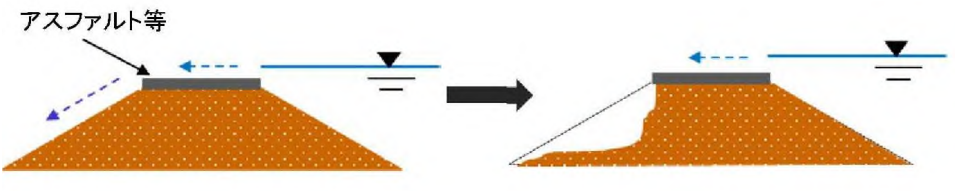


堤防天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす

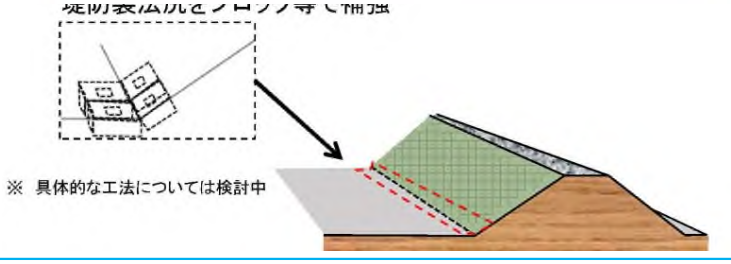
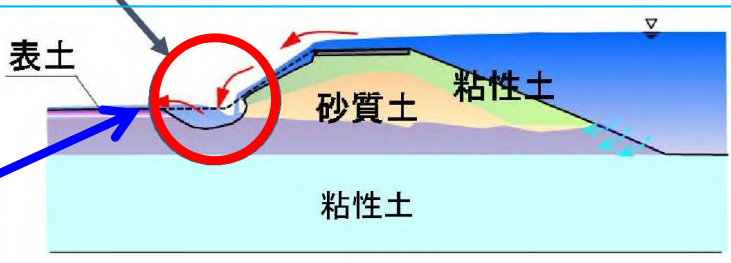


堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。



堤防裏法尻の補強

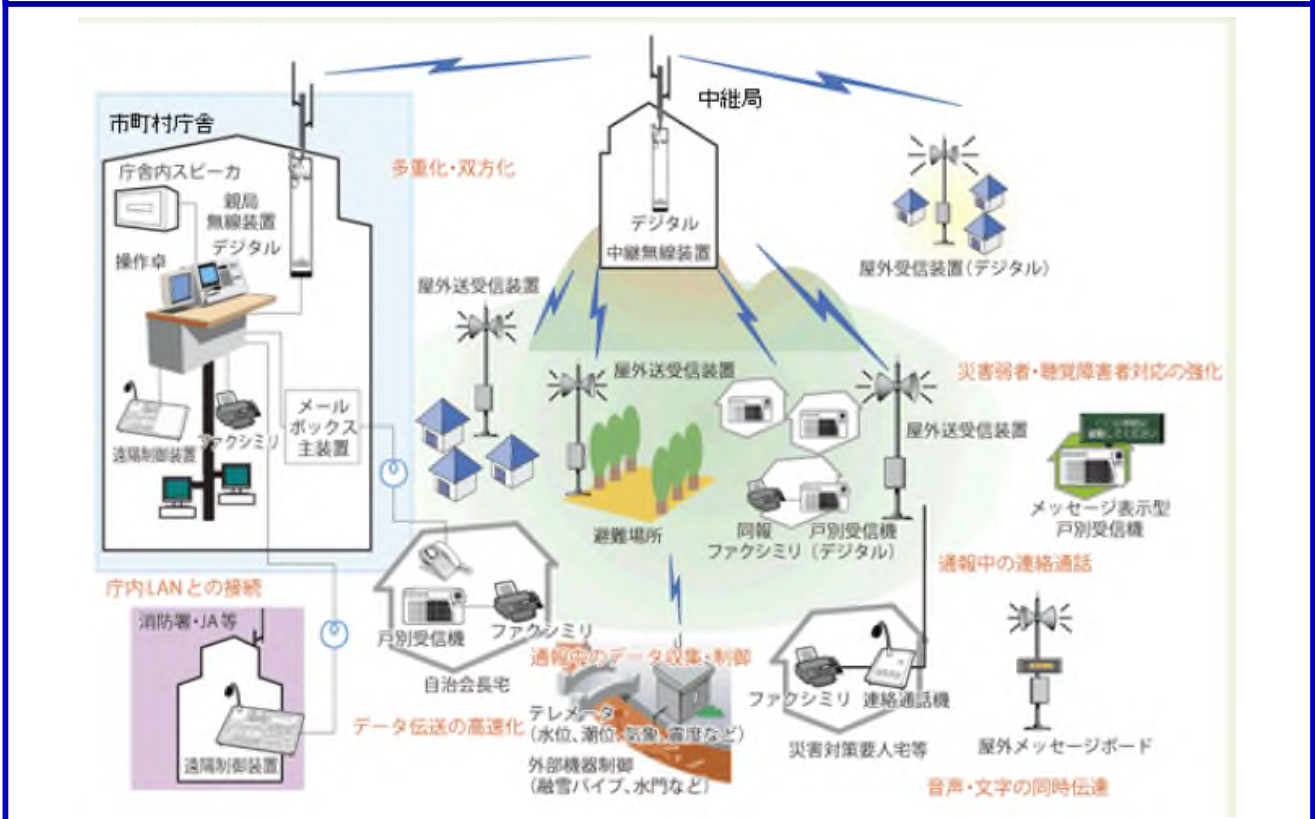
裏法尻をブロック等で補強し、越水した場合には深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



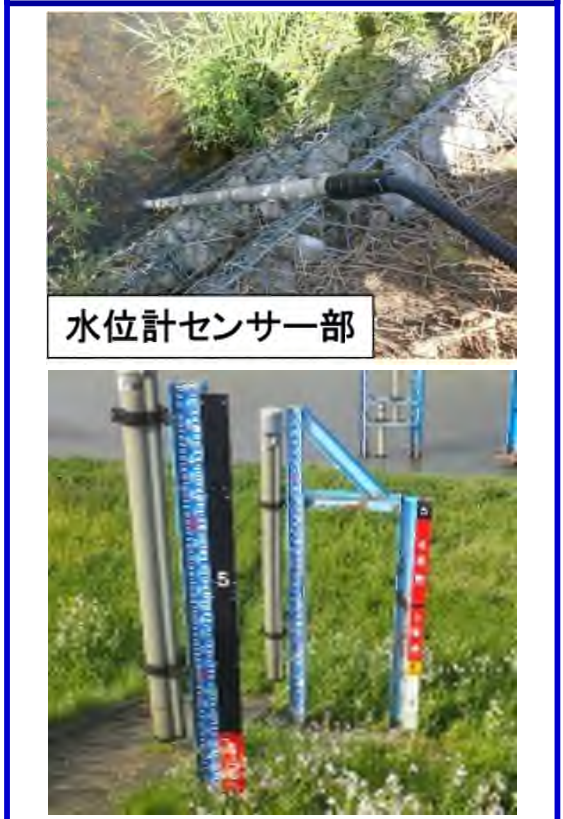
■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備 【H29年度～：中国地整】
- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 【H28年度～：倉敷市、総社市、早島町】
- 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備 【H29年度～：倉敷市、総社市、早島町、岡山県、中国地整】
- 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置 【H28年度～：中国地整】

防災行政無線の改良



簡易水位計／量水標

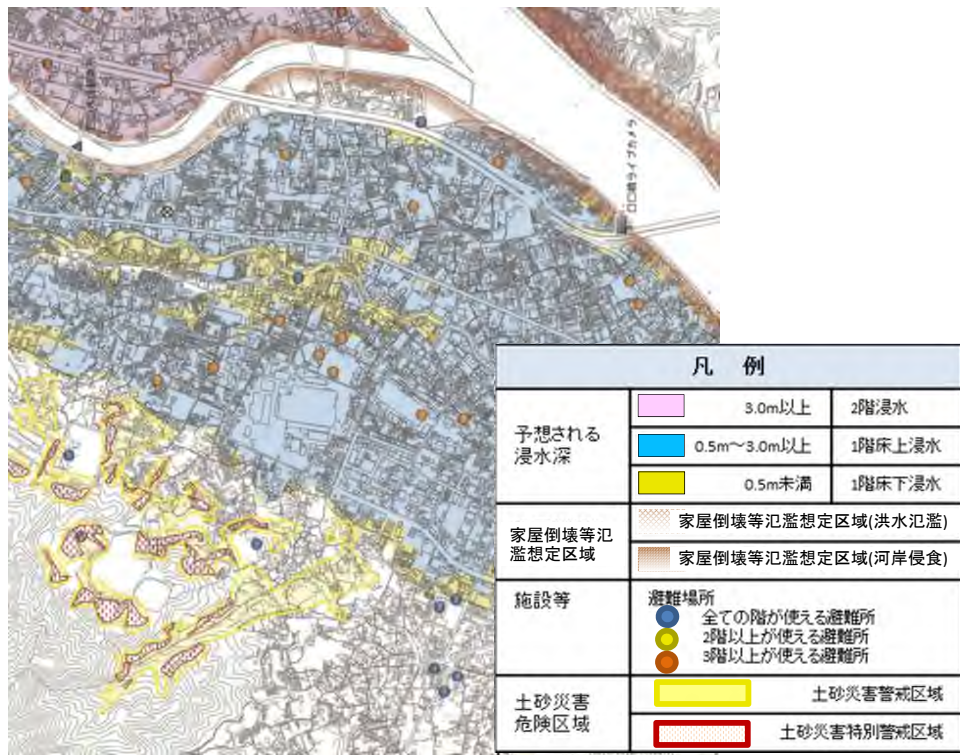


① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション 【H28年度：中国地整】
 - 広域避難計画の策定 【H29年度～：倉敷市、総社市、早島町、（岡山県）、（気象庁）、（中国地整）】
 - 避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるとまちごとハザードマップ整備 【H29年度～：倉敷市、総社市、早島町、（岡山県）】
 - 要配慮者利用施設の避難計画の作成支援及び訓練の促進 【H29年度～：倉敷市、総社市、早島町、岡山県、（中国地整）】
 - ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 【H29年度～：倉敷市、総社市、早島町、岡山県、中国地整】
- (): 支援機関を示す。

洪水浸水想定区域図(想定最大外力)のイメージ



まるとまちごとハザードマップ実施イメージ



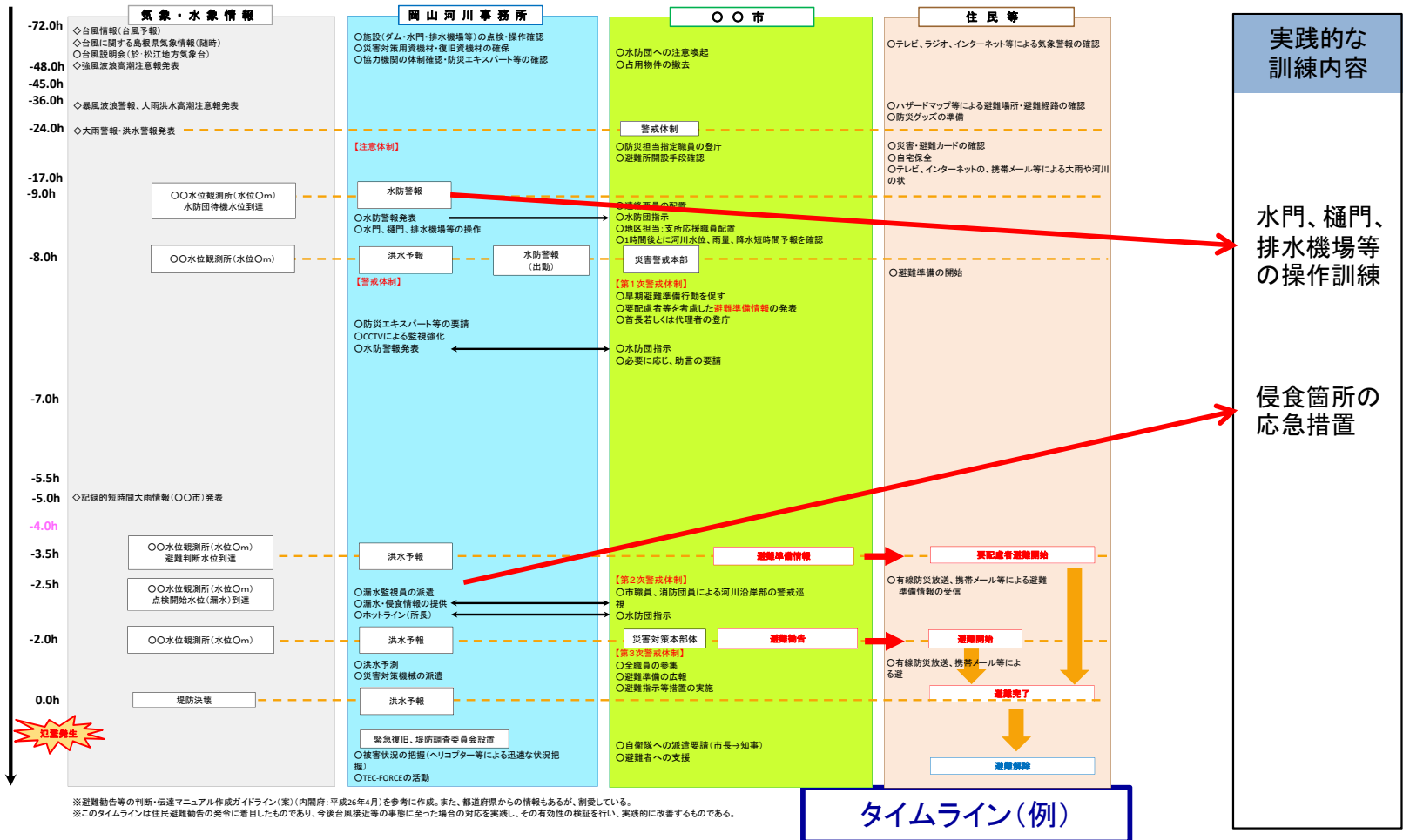
災害時要援護者避難活動訓練



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上 (): 支援機関を示す。
【H28年度～: 倉敷市、総社市、早島町、気象庁、中国地整、(岡山県)】
- タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
【H29年度～: 倉敷市、総社市、早島町、岡山県、(気象庁)、(中国地整)】
- 警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート) 【H29年度～: 気象庁】



※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)(内閣府:平成26年4月)を参考に作成。また、都道府県からの情報もあるが、割愛している。
※このタイムラインは住民避難勧告の発令に着目したものであり、今後台風接近等の事態に至った場合の対応を実践し、その有効性の検証を行い、実践的に改善するものである。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

○ 水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

【H28年度～：倉敷市、総社市、早島町、岡山県、気象庁、中国地整】

○ 教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施

【H28年度～：倉敷市、総社市、早島町、岡山県、気象庁、中国地整】

○ スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信

【H28年度～：倉敷市、総社市、早島町、岡山県、中国地整】

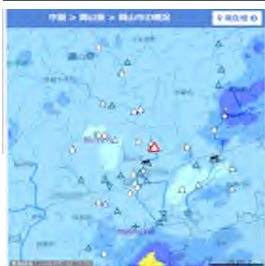
○ 水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供

【H28年度～：中国地整】

○ 効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成

【H29年度～：倉敷市、総社市、早島町、岡山県、気象庁、中国地整】

避難の参考となるダムや河川の状況(イメージ)



例：降雨情報



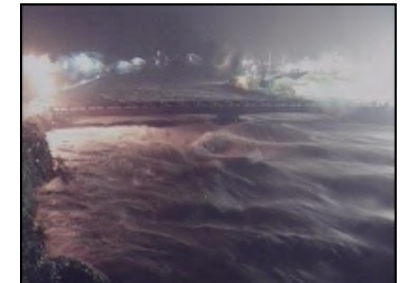
例：高水敷の冠水



例：ダムの洪水調節



例：市内冠水(内水)



例：堤防からの越水・破堤



～ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する事項～

水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供

②氾濫特性に応じた効果的な水防活動

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
【H29年度～：倉敷市、総社市、(気象庁)、中国地整】
 - 関係機関が連携した実働水防訓練の実施
【H28年度～：倉敷市、総社市、早島町、岡山県、(気象庁)、(中国地整)】
 - 水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進
【H29年度：倉敷市、総社市、早島町、(中国地整)】
 - 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築
【H28年度～：倉敷市、総社市、早島町、中国地整】
- (): 支援機関を示す。

総社市総社・清音第1・清音第2水防団合同点検(平成27年12月13日)



倉敷市船穂水防団合同点検(平成27年12月19日)



平成28年5月28日 高梁川総合水防演習(総社市、倉敷市、早島町)



③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策

■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施

○排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施
【H29年度～:倉敷市、総社市、早島町、岡山県、中国地整】

排水ポンプ車、排水機場訓練状況



排水ポンプ車出動(平成23年9月台風12号)



高梁川排水機場訓練(平成27年)



倉敷市水島(汐入川)



7. フォローアップ

今後、想定最大規模の洪水に対する取組方針については、改めて検討を行い、取組方針の見直しを実施する。

各機関の取組内容については、必要に応じて、防災業務計画や地域防災計画等に反映することによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むこととする。

年 度	内 容
平成32年度	<p>防災・減災社会の構築</p> <p>・進捗見直し ・情報共有 ・取組方針の見直し</p> <p>← 提案 →</p> <p>← 報告 →</p> <p>・進捗報告 ・習熟状況報告 ・問題点提示</p> <p>減災対策協議会の開催 (毎年出水期前)</p> <p>・進捗確認 ・取組方針の見直し ・習熟・改善等の継続的な フォローアップ</p>
平成31年度	
平成30年度	
平成29年度	
平成28年度	